

常任委員会 視察報告

既にお知らせしておりますとおり、各委員会では市政の重要課題について、所管事務調査を実施してきました。その中で、他市の先進事例を学ぶために、それぞれの常任委員会が2都市の行政視察を行って参りました。その概略を今回はご紹介します。なお、議会図書室や市議会HPにて、視察報告書をご覧いただけます。

総務常任委員会

東海市 「第5次総合計画について」
藤沢市 「新総合計画について」

東海市 市民参画を強く意識した計画を策定し、地域コミュニティと連携した事業運営を推進される中で地域にあった計画を立て、地域の生産性を高めることを目的とされています。本市においても、まちづくり協議会を基軸とした取り組みを進めていく中で、計画段階から実行段階まで、市民の意見を反映させていく仕組みづくりの構築を図ることで、市民と行政の協働のまちづくりの実現を目指していくべきだと考えます。



この写真は東海市HPより引用しています。

藤沢市 多様な活動主体と協働により行動していくための指針、現状値、めどそう値、役割の担い手（公・協・私の分類）を設定を行うほか、総合計画と個別計画の整合を図るといった具体性のある計画を策定されています。本市においても、市民に分かりやすい計画の策定に努めるとともに、地域との連携のあり方や財政的側面、事業評価のあり方等にも配慮した計画が望まれます。

文教厚生常任委員会

千葉市 「ごみ減量の取り組みについて」
船橋市 「小児救急医療体制について」

千葉市 焼却ごみを3分の2に削減したいという千葉市の意気込みを強く感じました。29の幅広い事業の中でも、古紙・布類の収集体制の見直しは特に効果的な取り組みであり、小学生によるごみ出しチェック隊「ヘラソーズ」の活動は社会教育においてもいい視点だと思います。今回の視察をもとに当委員会の所管事務調査を進め、本市において効果の高いごみの減量化に向けた取り組みを検討していきます。



(千葉市)

船橋市 複層の小児救急医療体制とトリアージ^⑥により、患者の症状に応じた対応をされていますが、医師への負担は本市と同様に課題とされており、国を挙げての取り組みを求める一方で、コンビニ受診に対する広報を市が積極的に行うことが重要であると共感しました。また、船橋市が運営する「地域リハビリ施設」や、救急車で医師が救命活動をする「ドクターカー」は、本市においても見習うべき取り組みであると思います。

産業建設常任委員会

高松市 「中心市街地活性化基本計画について」他
鳥取市 「中心市街地活性化基本計画について」他

高松市 中心市街地活性化に対する取り組みは地元商店主が衰退に対する危機感から、自発的な調査研究を進めてこられたことが契機となっています。本市においても、こうした地元の意欲や将来に対する危機感を喚起し、主体的に参画していく基礎作りが重要であると痛感しました。地域主体の組織作りや協力者を増やすことに対する仕掛け作りを、商工会議所と共に進めていくべきだと考えます。



(高松市)

鳥取市 中心市街地だけでなく共栄型の計画に取り組んでおられますが、運営面においても、実質的に市が主導しており、民間活力が十分活かされていないといった課題があります。行政主導でない新しいまちづくりのあり方を実現するためには、地域の主体性をいかに引き出すかが最重要であると思いました。また、大規模プロジェクトであり、多額の経費が見込まれることから、国や県との連携を密にし、多くの支援を取り込む必要があります。